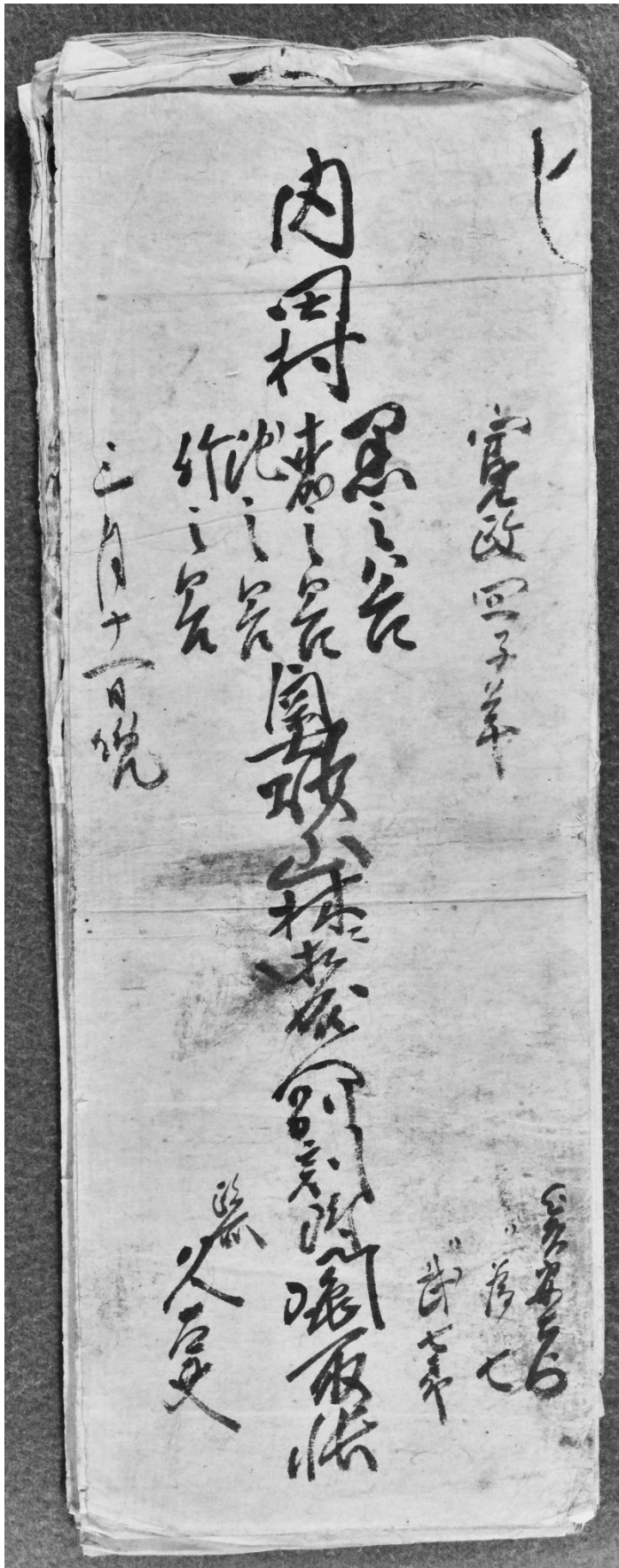


「内田村黒之谷 森之谷 池之谷 竹之谷 奥砂山林二相成人別割附圖取帳」
 鵜足郡造田村西村家文書



鵜足郡造田村西村家文書

【資料名】内田村黒之谷 森之谷 池之谷 竹之谷 奥砂山林 二相成人別割附く鬮取帳

(資料番号271) (複製本番号4737)

【解説】

鵜足郡造田村 (現 仲多度郡まんのう町造田) の庄屋を勤めた西村家に伝わる資料。

寛政三 (一七九二) 年に造田村の内田免黒の谷、森の谷、池の谷、竹の谷一帯に土砂崩れが発生し、土石流がたちまち谷を埋め、井手を通じて田畑多くの土砂が入り込み耕作不能となった。

災害の翌年、寛政四年復旧作業が進められたが被害の中心であった森の谷一帯の田畑や私有林の境界線を定める事は困難であった。そこで村寄合の結果、鬮取を行って田畑や山林の持ち分が決められた。本資料には鬮取を行った百四名の名前が書き付けられている。